

平成19年度 殿町こども文化センターの管理運営に対する評価について

1 指定管理者

(1) 指定管理者	財団法人かわさき市民活動センター
(2) 指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日
(3) 業務の範囲	殿町こども文化センターの管理運営に関すること 殿町小学校・東門前小学校わくわくプラザの管理運営に関すること

2 管理運営（事業執行）に対する評価

評価項目	平成19年度管理運営の状況	評価及び指導
(1) 管理業務の実施状況		
施設の運営に関する職員体制に関すること	①人的能力の充実を図るため職員の児童厚生員資格取得を進めると共に、新規採用職員は業務に関する資格取得者から選考しました。 ②本部の職員体制については管理係長1名、区運営担当主査を3名配置して各館との連携強化を図りました。	職員の業務に関する資格の取得を進めたこと、また本部職員の充実によりかわさき市民活動センターが管理運営している他のこども文化センターとの連携を図ったことは評価できる。職員の研修については、スケールメリットを生かし、大規模な研修を実施し、また、指定管理施設の各区、施設単位での研修も実施することにより職員のスキルアップを図っていたことは評価できる。今後もこども文化センター及びわくわくプラザの職員配置が適切に行われるよう努めること。
施設の管理運営に対するニーズ等の把握に関すること	今年度も運営協議会を中心に、お祭りを実施することで地域との接点をもつことができた。来館者の年齢層も、乳児から高齢者の方までより広い層へと変化している。地域の会議等にも参加し、こども文化センターの利点を広め、「地域のニーズ」を把握することができた。わくわくプラザでは、「こども会議」、「保護者会」を定期的で開催した。また、意見箱の設置をした。	継続的に利用者や地域住民からの意見・要望等を聞きニーズの把握に努めていたことは評価できる。意見箱の活用等により積極的にニーズの把握に努めていたことは評価できる。地域の会議に参加しニーズの把握に努めていた。
サービスの提供に関すること	定期的な行事と、子ども達の要望に沿った行事を行い、より多くの子ども達が興味関心を持って参加できる機会を増やしている。保育ボランティア講座を社会福祉協議会の協力で開催し、保育ボランティアの増員を行っている。	運営協議会やこども会議等を実施しサービスの提供を行っていた。また、ホームページの内容をより充実させていたことは評価できる。障害児については、障害児相談員を雇用し、必要に応じ職員の相談を行い障害児の対応を充実させていたことは評価できる。保育ボランティア講座を開催し、ボランティアの育成を図っていることは評価できる。

事業の実施に関する こと	昨年度、こども文化センター内で疑似体験をしたキャンプを、館外において4館合同でのデイキャンプとして実施した。実施にあたり、普段あまり体験することのできない火起こしやキャンプに役立つ行事を取り入れた。中高生の利用が日増しに増加している状態であり、学校の先生方と情報交換の場を持った。	スケールメリットを生かし、合同キャンプで他施設との児童の交流を図っていることは評価できる。中高生の利用にあたり学校との連携に努めていた。今後も、ボランティアの活用にも努めること。
個人情報の取扱いに関する こと	個人情報保護法に基づき、利用者等の個人情報は慎重に扱うことを職員間で話し合い、共通意識を保つようにしている。本年度はシュレッダーを購入したので、必要としなくなった個人情報が書かれている書類の処理を確実にスムーズに行っている。個人情報の記入のある必要書類においては、事務室内ロッカーや鍵の掛かる書庫に保管をしている。	個人情報の取扱いについては、概ね問題なく処理されている。
施設の安全管理に関する こと	毎日の清掃時に安全点検を併せて行うようにしている。不具合のあった箇所は、そのつど修理している。長机と座卓も清掃時に緩みや不具合がないかの点検を行っている。利用者に対しても、こども文化センターを安全に利用してもらえるように、危険のあるものについての話をしている。	毎日の清掃や始業時の点検を行い、安全性に努めている。
(2) 利用状況		
①こども文化センター	延べ利用者数 27,727人 延べ団体利用数 5,104団体 (主な行事等) ドッチボール大会 秋まつり (特色のある行事) 秋刀魚を焼こう！	地域の状況に合わせた特色ある行事の実施している。また、地域との連携を図り行事を実施していることは評価できる。行事の実施に当たっては、具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。
②わくわくプラザ	1 殿町小学校わくわくプラザ 登録者数 261人 延べ利用者数 11,459人 (主な行事等) 映画会 ゲーム大会 (PK戦) (特色のある行事) エジソンの？ハテナ教室 2 東門前小学校わくわくプラザ 登録者数 165人 延べ利用者数 10,246人 (主な行事等) 将棋クラブ カレー作り (特色のある行事) エジソンの？ハテナ教室	行事については、順調に実施されている。利用状況は具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。

評価項目	平成19年度管理運営の状況	評価及び指導																														
(3) 収支状況																																
① 収支状況	<p style="text-align: right;">(単位：円)</p> <table> <tr> <td>収入</td> <td>指定管理料</td> <td>44,009,231円</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>人件費</td> <td>36,181,619円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>管理費</td> <td>2,292,035円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事務経費</td> <td>1,937,847円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他経費</td> <td>1,436,042円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>青少年事業資産取得支出</td> <td>909,090円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>減価償却引当資産取得支出</td> <td>40,492円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第1回精算に伴う返納金</td> <td>636,363円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>43,433,488円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>差引</td> <td>575,743円</td> </tr> </table>	収入	指定管理料	44,009,231円	支出	人件費	36,181,619円		管理費	2,292,035円		事務経費	1,937,847円		その他経費	1,436,042円		青少年事業資産取得支出	909,090円		減価償却引当資産取得支出	40,492円		第1回精算に伴う返納金	636,363円		合計	43,433,488円		差引	575,743円	<p>事業実施後指定管理料の残額を戻入しており指定管理料の範囲内で事業の実施を行っている。今後は収支のバランスを考慮しつつ、事業をより充実させるため適切な経費の執行を図ること。</p>
収入	指定管理料	44,009,231円																														
支出	人件費	36,181,619円																														
	管理費	2,292,035円																														
	事務経費	1,937,847円																														
	その他経費	1,436,042円																														
	青少年事業資産取得支出	909,090円																														
	減価償却引当資産取得支出	40,492円																														
	第1回精算に伴う返納金	636,363円																														
	合計	43,433,488円																														
	差引	575,743円																														

3 管理運営（事業執行）に対する全体的な評価

指定管理以前から委託事業者としてこども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に携わっていた経験を生かし、また、全市58施設の内55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、施設ごとに偏りの無いサービスの提供を行っており、区ごとのこども文化センター合同行事の実施や全市規模の行事の実施を行っていた。行事の実施についても施設ごとに特色ある行事を実施していることは評価できる。また、各施設を統括する本部職員を配置することにより、他のこども文化センターと連携を図り管理運営を行っていたことは評価できる。

55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、安定した経営を行っていたことは評価できる。

4 来年度の管理運営（事業執行）に対する指導事項等

次年度も引き続き55施設の指定管理者として安定した経営、他施設と連携した行事等スケールメリットを生かした管理運営を実施すること。事業の実施に当たっては運営協議会を始め地域と連携し、より一層地域の状況に合わせた特色ある行事の実施等を行うこと、また目標利用者数を設定する等具体的な数値目標を設定し客観的に事業の達成状況が分かるようにすること。